

公表

保護者からの保育所等訪問支援サービス評価の集計結果

事業所名 ことばと発達の相談室

公表日 R6年 4月 6日

利用児童数

3名

回収数

1件

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				○	ごめんなさい。何が良いのかは保護者はわかりません。	訪問支援時の教具や教材はごちらかの手出しは殆どなく、園や学校のモノを使って指導しています。この質問自体が不明ですね。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。		○			施設を見回ったわけではないのでわかりません。	今では、園も学校もクールダウンできるようなお部屋を設けるようになっていました。おそらくあったように記憶しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。				○	教育機関に先生みたいに支援ができる人が居ればいいのにと思いました。	言語聴覚士が教育委員会で働くケースが増えましたが、園とかはまだですかね。ただ財政的などところで配置できないということもあります。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○					
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○				保護者の心理面の不安の解消をしてくださったり、学校の先生の考えを分かりやすい翻訳して頂き助かっています。学校と家庭の仲介として、専門家として立派に活動して下さいました。	お伝えした関わり方が少しでも現場のヒントになれば幸いです。すぐに解決が難しい課題も、一緒に少しずつ「関わり」と家庭の仲介として、専門家として立派に活動して下さいました。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	○					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					

等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		○				
	27	子どもは訪問支援を嫌っていませんか。	○				もっと来てほしいと言っています。	たくさん行きたいところですが、人員不足のため多くは対応できないのです。お子さまによろしくお伝えください。
	28	事業所の支援に満足していますか。	○				学校の先生と私たちの間に入りながら、どちらも納得のいくような手立てを提案して下さいました、私たちの理解不足や、もしかしたら先生方もそうかもしれませんが、専門家が入ることで一気に道が開けるような体験をさせてもらっているのではないのでしょうか。お願いして本当に良かったです。	先生方の「困り感」に寄り添いながら支援できたこと、とても嬉しく思います。現場で一番近くで子どもたちと向き合う先生方の視点は、支援にとって何より大切です。これからも「一緒に考える」パートナーとして関わって頂けると幸いです。

公表

訪問先施設からの保育所等訪問支援サービス評価の集計結果

事業所名		公表日		R6年 4月 6日	
ことばと発達相談室		利用児童数		3名 回収数 2件	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			問題行動の原因を分かりやすく説明して頂けた。改善案は環境が整わない物もあったが、園で出来ることの代案を示して頂き良かった。	ご理解いただき、また代案を前向きに受け止めてくださりありがとうございます。実情に即したアドバイスをお届けできるよう努めますので、引き続きよろしく願いいたします。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			質問に分かりやすく答えて頂き分かりやすかった。大変満足しています。	先生方が日々感じておられる疑問や不安に対して、少しでも力になれるよう心がけております。今後も遠慮なく、どんなことでもご相談ください。一緒に考えていきましょう。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			丁寧に分かりやすい言葉で説明して頂きました。	お伝えした関わり方が少しでも現場のヒントになれば幸いです。すぐに解決が難しい課題も、一緒に少しずつ「関わりの工夫」を積み重ねることで、子どもたちにとっても先生方にとっても過ごしやすい日々近づけると考えています。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1		解消されることはありませんが、関わり方など、目の前で実践して下さるので参考になりました。	先生方の「困り感」に寄り添いながら支援できたこと、とても嬉しく思います。現場で一番近くで子どもたちと向き合う先生方の視点は、支援にとって何より大切です。これからも「一緒に考える」パートナーとして関わらせてください。
5 事業所からの支援に満足していますか。	1			私たちの困り感を解消して下さるので大変ありがたいです。満足しています。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
				支援内容が先生方の日々の保育・教育に少しでも役立てていただけたことを嬉しく思います。また、「私たちの困り感を解消してくれる存在」としてご評価いただいたことは、今後の支援活動の励みとなります。今後は、園・学校の実情や環境をふまえ、「今ある環境でできる支援」に重点を置き、無理のない形での支援法と一緒に検討します。担任の先生だけでなく、保育士・学年団・加配スタッフ等、関係者全体との情報共有を大切にし、チームでの支援を支えていきます。なお、必要に応じた個別のご相談にも随時対応いたします。困りごとが生じた際は、遠慮なくお知らせください。	

公表

保育所等訪問支援サービスにおける自己評価結果

事業所名		ことばと発達の相談室					公表日	R6年 4月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○					
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	臨床経験のある指導員によりフィードバック を実施している。第三者による外部評価は多 忙のため実施することが困難である。	現状、問題なく支援ができてしていると判断す る。件数を増やすことにより様々な問題が生 じるかもしれないが、そうならないために も、保護者や担当の先生方と情報を共有して 支援にあたるように努める。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。		○		保育所等訪問支援を担当する指導員が少な く、対応する者がベテランであるため、全て を任せている状況である。経験年数が浅い職 員などへ伝達講習を行う等、今後検討してい く。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。		○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○					
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○						

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			きょうだい児に関しては今後大きな研修会を立案中である。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			